



56

## ばんだいづみ 万代堤

徳島県羽ノ浦町古毛

羽ノ浦町は、徳島県西部の那賀川北岸に位置する街である。那賀平野の肥沃な土地を利用し、米作のほかに古くから施設園芸が導入された農業の先進地であり、近年は、阿南市、小松島市のベッドタウンとしても発展し、文化、福祉、人情を中心として風格ある街づくりに取り組んでいる。（文化・観光）桜の馬場、妙見山、経塚

徳島県中部を東流する那賀川は、洪水により地域住民の生活をおびやかしてきた。とくに天明七年（一七八七年）の洪水では、流出家屋、死者も多数にのぼり、その悲惨さは言語に絶するといわれている。

この洪水を契機に改修がはじまり、阿波藩の命をうけた吉田宅兵衛を中心には、敷幅四五メートル、高さ七メートルという当時としては破格の大きさの堤を築き、万代にわたり住民を守るようにと万代堤と命名された。堤の大きさだけではなく、大型機械のない時代に周囲二三メートルもの巨石を探り出して水制とするなど、大工事であった。

吉田宅兵衛を中心とした先人の偉業をたたえるために、今後の治水事業の進展と住民意識を高めるとともに、現在でも祭りがひらかれている。

